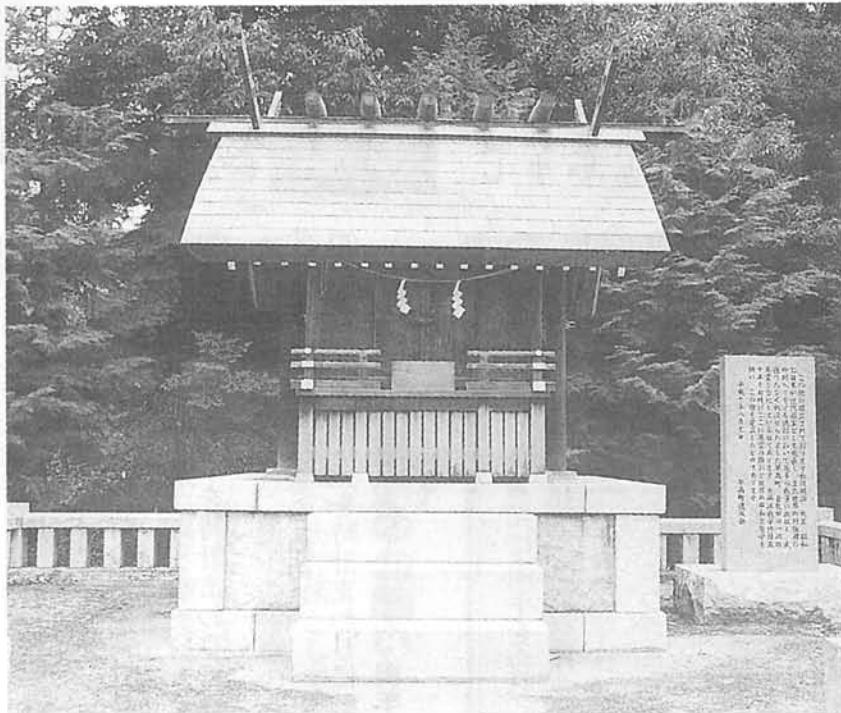


## 御靈神社（護國神社）

### 摂末社巡拝⑥



つるさき

発行所

鶴崎神社

早島町早島2220

〒701-0304

TEL 482-0097

FAX URL

[www6.ocn.ne.jp/~turusaki/](http://www6.ocn.ne.jp/~turusaki/)

当社境内の西端に伊勢神宮御正殿と同じ神明造りの御靈神社がある。この神社は昭和二十二年秋に早島・豊洲遺族会により建立されている。

ご祭神は、大東亜戦争の戦没者の英靈二五二柱（早島町一六四柱 旧豊洲・帶江八八柱）を祀っている。

日本の将来のため、家族のため尊い命を捧げて戦陣に散り、戦禍に倒れた護國の英靈は、当社の森に祀られ、岡山県護國神社に祀られ、靖国神社に祀られ、戦後六十年を間近に控えた今日でも、国民や遺族の手により手厚く祀られている。

今日の平和と発展は英靈のお陰であり、私達はこの英靈に感謝の誠を捧げ後世まで慰靈と顕彰を続けて行かなければならぬ。

御靈神社の慰靈祭は五年に一度仏式で行われたり、無宗教で行われたりした時期があつたが、現在は早島町遺族会と早島町社会福祉協議会により毎年十一月に神式により執行している。

平成十三年十一月早島町遺族会から掛け玉串用榊一対を植樹奉納された。

## 神道Q & A

### 【質問】

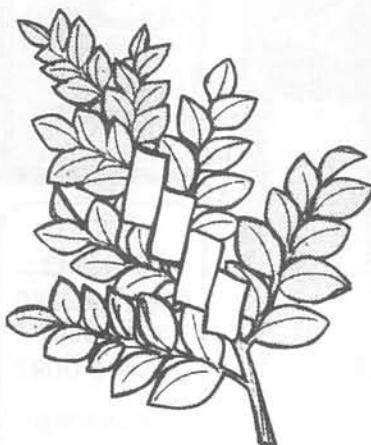
神社へお参りした時や結婚式などで玉串拝礼をしますが、その意味や作法を教えて下さい。

また、玉串に使用する木はどんなものが良いのでしょうか？

### 【答え】

玉串拝礼は榦などの枝に紙垂（しで）と呼ばれる段折りにした白い半紙などを付け神様に捧げる作法をいます。

- ①神職から玉串を受け取つたら右手は上から、左手は下から持つ。
- ②胸の高さに持ち、神前の玉串案（台）の前に進む。
- ③軽く一礼し、玉串を時計まわりに廻して、立てる。
- ④左手を下げ、祈念を込める。
- ⑤左手で玉串の根元を時計まわりに廻し、右手は玉串の真下に添え、両手で玉串を案にのせる。
- ⑥二度深く礼をする。
- ⑦二度拍手を打つ。（先に両手を合わせ、右手を少しひいてから拍手を打つ）
- ⑧一度深く礼をする。
- ⑨軽く一礼してもとの席につきます。



玉串が一人に一本づつある場合は、各自上の作法で拝礼しますが、代表者数人の場合は、一番係わりが深い代表者の方に合わせて自分の席から、二礼二拍手一礼（⑥～⑧）のみ一回だけ行う。数人の代表者それぞれに合わせて数度拝礼する必要はありません。玉串を捧げる時に注意する事は、必ず根本を神前に向け、お供えした時に紙垂が案から垂れ下がつた時は、榦の上に直して下さい。（紙垂が神様に奉る供献物であり、榦はその台であるため）玉串に使用する木（枝）は一般的には榦を使用しますが、小賀玉やヒサカキなどを代用しても構いません。

### 神幸祭衣装を奉納

去る五月二十二日当社の出氏子であり奈良市在住の渡辺正巳氏から神幸祭用法被（大人用、子供用）及び小忌衣合わせて三五二八着と金一封の奉納がありました。

渡辺氏は当日奈良から来社になり、

神様に対する礼には、心と形との二つがありますが、形の内でも特に、「ささげもの」を通して神様に対する礼を表すのが玉串拝礼の意義です。神様に玉串を奉るにはやはり作法がありますのでその作法を下に記し



奉納された法被

拝殿にて奉納奉告祭後、目録を差し出され、「私の若い頃の思い出には、鶴崎神社の神幸祭は氏子の中心的行事として盛大に執り行われていたが、現在は祭への氏子の一体感が薄れている感があり、また青少年の氏子意識を啓発するためにも、その手助けになればとの思いで奉納します。」と熱く語られました。

どうか渡辺氏の意志を氏子一人一人のものとして捉え、奉納された法被を大いに活用し秋祭りをみんなで盛り上げて頂きたいと思います。

## 十一月は「七五三」

七五三は子供の無事な発育を喜び、なお一層の成長を願つて、その年の子が氏神さまに詣でる行事です。

古来は男女三歳で髪置きの祝い、男児五歳で袴着の祝い、女児七歳で帯解きの祝いを行つたことに由来します。

当社では十一月十五日を中心にして五三祈祷を奉仕致します。平日に御祈祷希望の方は都合のよい日を前もつてご予約下さい。

## 神社資料提供のお願い！

当社は早島、豊洲の氏神様としてご鎮座六五〇年を経過し、氏子の皆様の心のよりどころとして、崇敬されています。

この間、神社を取り巻く環境は大きく様変わりしましたが、その神社の創建から長い歴史を、一冊の書籍にまとめ後世に残したいと思い、「鶴崎神社史」を編纂致したく存じます。

現在当社に保存されている資料の整理を致しておりますが、何分長い歳月の経過と、先の大戦等で満足する資料が残つております。

つきましては、氏子の皆さんの中で、当社に関する資料、写真等を所有されている方がございましたら、ご借用賜りたく存じます。ご協力願えます方は神社までご一報願えれば幸甚に存じます。

## 岡山県神社庁がHP開設

県内の神社一六二五社の名称、所在地が分かるほか、主要な二九五社について写真、由緒、緯度経度など二十二項目のデータを入力しており、祭神名（約六千柱）などのキーワードで検索できる。将来的には全社の詳細データを入力の予定。当社も掲載されているので一度覗いてみて下さい。

# 鬼が復活！「秋祭り神幸祭」

## ◆秋季大祭（供膳祭）

十月十九日（土）午前十時～十一時

吉備津神社に伝わる七十五膳据えの神事と同様に、御膳に盛った特殊神饌を総代・監事四十名により本殿にお供えします。

午後からは金田、中帶江、五日市にトラックにて神輿が特別巡幸。  
夕方五時～九時の宵宮には境内に夜店がたくさん出ます。

## ◆神幸祭

十月二十日（日）午前八時～発輿祭（本殿からご神体を神輿に遷す神事）  
午前九時～午後二時半迄（神輿巡幸）

午前九時に神社を出発した神輿は、豊洲農協前、高須賀農協前、弁才天、片田、

龍神社、前潟公民館、早島農協

前の各御旅所を巡幸。

また伝統の神

幸行列に加え

「多聞会」の皆様

の協力により、

たくさんの鬼も

復活し、神輿に

ついてお供しま

す。

## おくやみ

総代の三澤兼弘氏はかねてから病気療養中でしたが、去る七月七日帰らぬ人となりました。

氏は平成九年六月一日から高須賀を代表して当社の氏子総代としてお世話をいたしており、氏子の新規加入にご尽力下さいました。茲に生前のご功績を偲び哀悼の意を表します。

## 祭事暦

十月十九日（土）午前十時

秋季大祭（供膳祭）

十月二十日（日）午前九時

神幸祭

十一月中

七五三祈祷

十一月二十三日（土）午後二時

新穀感謝祭

一月二日（木）午後二時

年始祭

毎月一日（午前九時）月次祭